

TOTO

## オートクリーンC (オールインワンタイプ・乾電池タイプ・AC100Vタイプ)

TEF71型・TEF71A型  
TEF71D型・TEF72型  
TEF81型・TEF81A型  
TEF81D型

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

## 1-1 安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

●この説明書では商品を安全に正しく取り付けただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性があることを示しています。



⊘ は、してはいけない「禁止」内容です。左図は、「分解禁止」を示します。



ⓘ は、必ず実行していただく「強制」内容です。左図は、「必ず実行」を示します。

## 警告



禁止

AC100Vタイプ  
ガタついているコンセントは使わない  
火災や感電の原因になります。



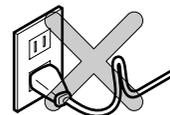
電源プラグや機能部に水をかけない  
火災や感電の原因になります。



AC100Vタイプ  
指定する電源 (AC100V) 以外では使用しない  
火災の原因になります。



AC100Vタイプ  
電源コード・電源プラグが破損するようなことをしない  
傷ついたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、挟み込んだり、加熱したりしない  
傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。



## 警告

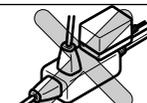


禁止

AC100Vタイプ  
電源コードの加工 (切断・継ぎ足し) を行わない  
火災や感電の原因になります。



AC100Vタイプ  
コンセントや配線器具の定格を超える使いかたをしない  
たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。



接触禁止

AC100Vタイプ  
ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない  
感電の原因になります。



AC100Vタイプ  
雷が発生しているときは、電源プラグに触れない  
感電の原因になります。



必ず実行

AC100Vタイプ  
電源プラグを抜くときは、必ずプラグ本体を持って引き抜く  
コードを引っ張るとプラグやコードが傷んで、火災や感電の原因になります。



AC100Vタイプ  
電源プラグは根元まで確実に差し込む  
火災や感電の原因になります。



水場使用禁止

浴室など湿気の多い場所には設置しない  
故障や感電の原因になります。

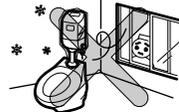
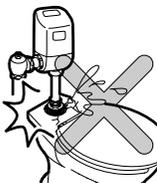
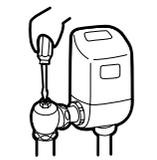


分解禁止

分解したり、修理・改造は絶対に行わない  
火災や感電の原因になります。



**注意**

 <b>禁止</b>	<b>強い力や衝撃を与えない</b> 破損して、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。	
	<b>凍結が予想される場所には設置しない</b> 部品が破損し、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。	
	<b>本体の通水路には抵抗となるような部材（オリフィスなど）をつけない</b> 洗浄性能への悪影響や水漏れのおそれがあります。	
 <b>必ず実行</b>	<b>空気の混入が考えられる給水配管には必ず空気抜き弁を取り付け、空気が配管内に残らないようにする</b> 新築・改修工事後や、水道断水復旧後に、大量の空気と水が混入して器具に供給されると、器具の破損や故障の原因となり、けがをしたり、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。	
	<b>取付接続部に腐食・ひび割れ・水漏れなどのないことを十分に確認のうえ、取り付ける</b> 故障や水漏れの原因になります。	
	<b>ピストンの掃除をする際は、いきなりピストンを取り出さずに、止水栓または元栓を閉めてから行う</b> (取扱説明書を参照してください) 水が噴き出て、家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。	

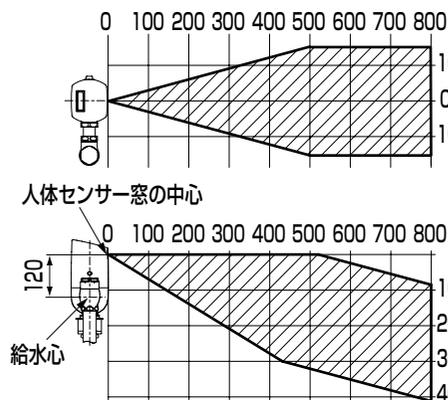
**取り付け前に**

**1.取付条件の確認**

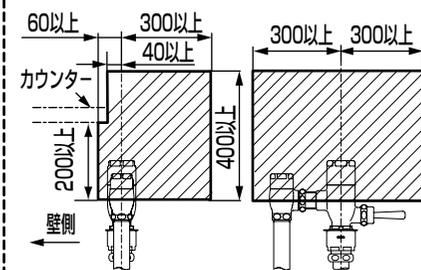
●オートクリーンCは、既設取り替えタイプ(乾電池タイプ・AC100Vタイプ)とリモデルタイプ(AC100Vタイプ)を品揃えしております。リモデルタイプは便器の種類に応じた商品を選定してください。他社製便器には取り付けできませんのでご注意ください。

下図A～Dの場合は取り付けできませんので、事前にご確認ください。

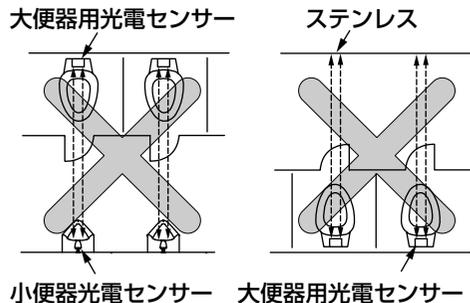
**A. 下記感知領域内に障害物がある場合**



**C. 既設フラッシュバルブ付近に手すりなどがある場合 (斜線は必要空間寸法)**



**B. 光電センサー正面の壁がステンレスなど反射しやすい場合や、光電センサー同士が対向する場合**



**D. トイレアームレスト、簡易昇降便座**  
 人体センサー取付位置の関係上、誤感知しますので、使用できません。

●リモデルタイプをお取り付けの場合は下記にご確認ください。  
 ・水道工事と電気工事は、十分に工程を打ち合わせのうえ、行ってください。  
 ・コンセントの位置はコードが届く範囲内に設けてください。(コード長さは約1.3m)

## 2. センサーについて

- 太陽光が入る場所では太陽光の影響で光電センサーが作動（感知）しない場合や誤作動する場合があります。
- 和風便器で前面の壁に紙巻き器が設置されている場合、トイレトーパーを巻き取るときに手かざしセンサーが誤感知するおそれがありますので、可能であれば側面の壁に紙巻き器を移動することをおすすめします。
- 男性が立位で小用を足す大便器では、センサーの取付位置の関係より、使用者を感知することができません。
- 幼児用便座、前丸便座をご使用の場合、使用後、または清掃後は便座を下げてください。
- 施工の際にセンサー面を傷つけないよう十分にご注意ください。
- インバーターや赤外線を用いた他の機器により誤作動することがあります。

## 3. 洗浄について

- TEF71型・71A型・71D型・72型は水道水のみ、TEF81型・81A型・81D型は水道水・井戸水・再生水・雑用水に使用できます。ただし、井戸水・再生水・雑用水は、使用できる水質範囲があります。詳しくは、下記アドレスのホームページを参照してください。

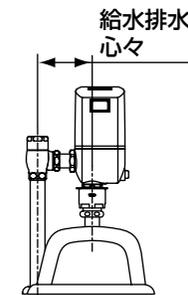
ホームページアドレス：<http://www.com-et.com/kiki/>

- 汚物流し（SK33、SK35、SK434）に取り付ける場合、大小洗浄機能を「大」に、自動洗浄機能を「切」に設定して手かざしセンサーのみの仕様でご使用ください。

## 4. その他

- 給水排水心々  
120mm以外は、下記品番の接続金具をご購入のうえ、施工の前にお取り替えください。（取替要領は「**12** 接続金具の交換」を参照してください）

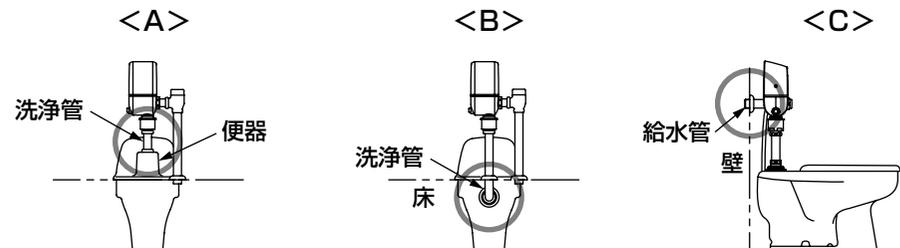
	TOTO用	
給水排水心々(mm)	100	156
品番	TH342	TH342-2



- TEF72型をウォシュレットPタイプに取り付ける場合は、別途TN54-10型をご購入ください。また、給水排水心々が120mmを超える場合は、下記接続金具もあわせてご購入ください。

給水排水心々(mm)	156	180
品番	TH484 V2	TH484 V21

- 施工の際に電源コードが大便器内の水に入らないよう十分にご注意ください。
- オートクリーンCの給水方向は、左右どちらにも対応できます。
- 梱包前に通水検査をしていますので、商品内に水が残っている可能性がありますが商品には問題ありません。
- **下図A~C以外** の設置形態の場合は、パイプホルダーなどで給水管や洗浄管を確実に固定してください。



# 3 仕様

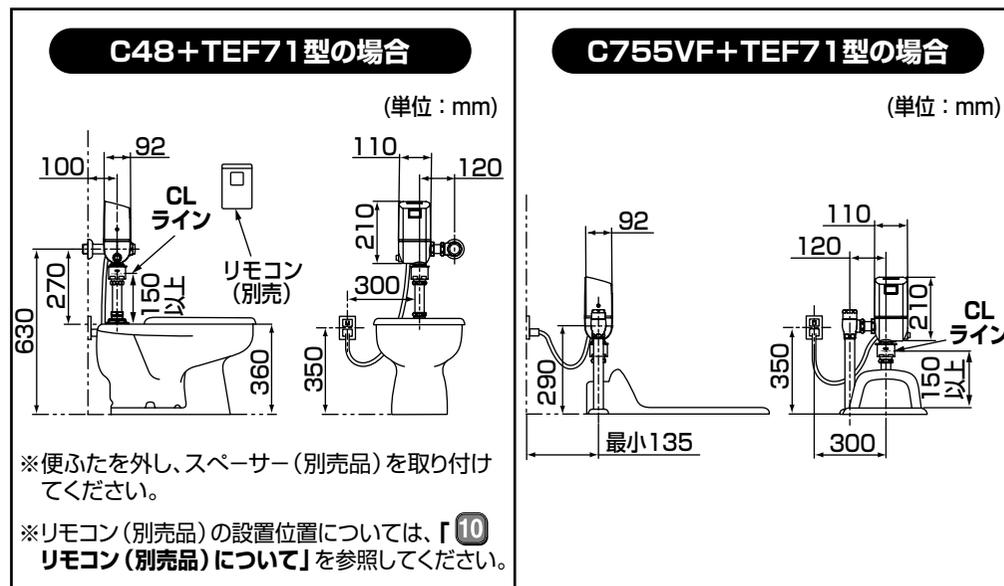
タイプ	AC100Vタイプ	乾電池タイプ
	リモデルタイプ	既設取り替えタイプ
取り付け可能なフラッシュバルブ (寒冷地タイプは除く) ※既設取り替えタイプの場合	—	TV150型 TV750型
洗浄水量調節範囲	大	8~16L 調節可能
	小	6~10L 調節可能
工場出荷時 標準洗浄水量	大: 10L 小: 7L	
給水圧力	最低必要水圧 (流動時)	0.07MPa ※SK33 (汚物流し) の場合は0.1MPa ※C716 (低圧用大便器) の場合は0.04MPa
	最高水圧(静止時)	0.75MPa
製品寸法 (mm)	110(幅) × 220(高さ) × 92(奥行)	
電源	AC100V 50/60Hz	アルカリ単2乾電池 × 2本
消費電力	常時	3W以下
	バルブ作動時	5W以下
電池寿命	リモコンあり	—
	リモコンなし	—
感知距離	人体センサー	800~500mmで4段階調節可能 (白紙□300mmの場合)
	手かざしセンサー	110mm (白紙□300mmの場合)
人体感知時間	6秒間以上	
自動洗浄開始時間	人体感知が切れて約10秒後	
手かざし時間	1秒/2秒 切替可能 工場出荷時: TEF71ACSX、TEF81ACRXは2秒に設定 それ以外は1秒に設定	
小洗浄判定時間	120秒または150秒に設定可能 工場出荷時: 120秒	
自動洗浄	入/切 切替可能 工場出荷時: 入	
大小洗浄	大/大小 切替可能 工場出荷時: 大小	
設備保護洗浄	24時間洗浄がない場合は自動洗浄します AC100タイプは、入/切 切替可能 工場出荷時: 入	
給水接続部	25A (ねじサイズ: R1)	
使用温度範囲	1~40℃	
使用水	TEF71型・71A型・71D型・72型: 水道水のみ	
	TEF81型・81A型・81D型: 水道水・井戸水・再生水・雑用水 (注)	

(注) 井戸水・再生水・雑用水は、使用できる水質範囲があります。詳しくは、下記アドレスのホームページを参照してください。

ホームページアドレス: <http://www.com-et.com/kiki/>

# 4 完成図

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。



# 5

## 部品の確認

次の部品があることを確認してください。

タイプ	既設取り替えタイプ			リモデルタイプ	
	TEF71型・TEF81型	TEF71D型・TEF81D型	TEF72型 (ウォシュレット分岐アダプター付き)	TEF71A型・81A型	
外観					
同梱品	<p>パッキン (1枚)</p>	<p>アルカリ単2乾電池 (2本)</p> <p>パッキン (1枚)</p>	<p>パッキン (2枚)</p>	<p>止水栓用パッキン (1枚) ※オートクリーンC本体に取り付けてあります。</p>	
	共 通				
<p>止水栓用パッキン (1枚) ※オートクリーンC本体に取り付けてあります。</p>		<p>パッキンガイド + パッキン (各1枚)</p>	<p>施工注意札 + パッキン (1枚)</p>	<p>使いかたラベル</p>	<div style="border: 2px dashed black; padding: 5px;"> <p><b>必ずお客様にお渡しください</b></p> <p>取扱説明書</p> </div>
			<div style="border: 2px dashed black; padding: 5px;"> <p><b>必ずお客様にお渡しください</b></p> <p>取扱説明書</p> </div>		

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

- 7 オートクリーンC本体の取り付け
- 8 洗浄水量調節について
- 11 乾電池の取り付け  
(乾電池タイプのみ)
- 12 上カバーの取り付け

- 3 止水栓を閉める
- 5 既設フラッシュバルブ  
本体の取り外し
- 6 バキュームブレーカー  
の組み替え
- 10 水勢の調節

- 9 リモコンおよび  
その他の設定

※リモコンは別売品です。

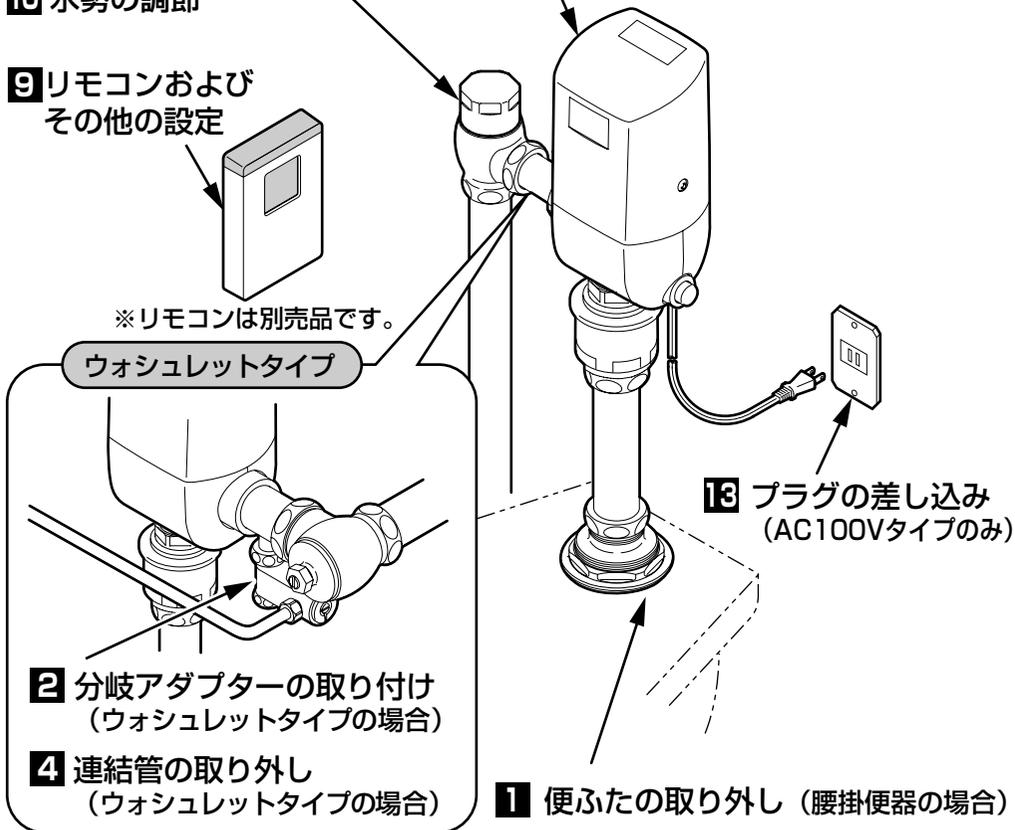
ウォシュレットタイプ

- 13 プラグの差し込み  
(AC100Vタイプのみ)

- 2 分岐アダプターの取り付け  
(ウォシュレットタイプの場合)

- 4 連結管の取り外し  
(ウォシュレットタイプの場合)

- 1 便ふたの取り外し (腰掛便器の場合)



## 1 便ふたの取り外し (腰掛便器の場合)

腰掛便器の場合、便ふたを外す。



〈普通便座の場合〉

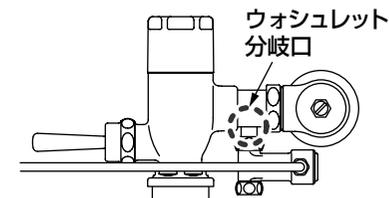
色番	色彩	対応スペーサー
なし	ホワイト	D59025
#N11	ペールホワイト	
#SC1	パステルアイボリー	
#SR2	パステルピンク	
#SM2	パステルブルー	
上記色番以外		D59025 t1

※その他の便器 (暖房便座、ウォシュレット便座) については、当社各支社、営業所にお問い合わせください。

〈他社便座の場合〉  
便ふたなしの便座にお取り替えください。

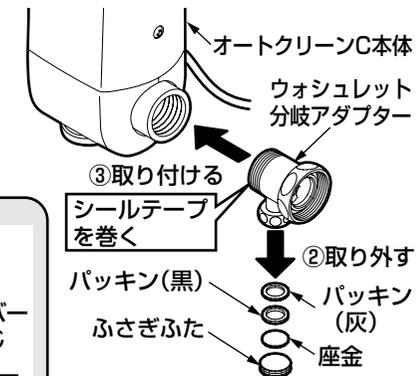
## 2 分岐アダプターの取り付け (ウォシュレットタイプの場合)

- ① 既設フラッシュバルブのウォシュレット分岐口の位置を確認する。



- ② ウォシュレット分岐アダプターのふさぎふたを外し、パッキン2枚 (黒と灰) と座金を取り外す。

- ③ 既設フラッシュバルブの分岐口の位置と同じになるように、オートクリーンC本体にシールテープを巻いたウォシュレット分岐アダプターを締め付ける。



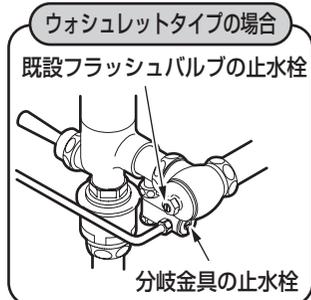
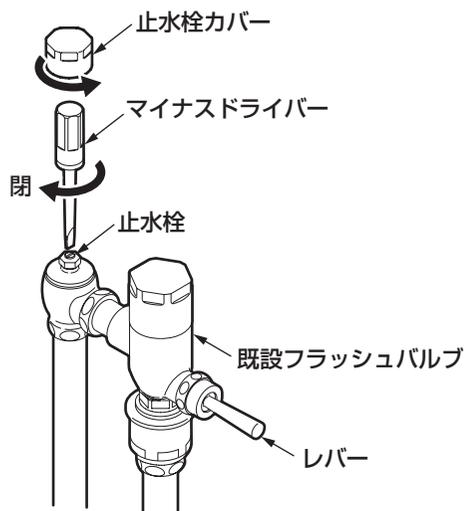
### 注意

既設フラッシュバルブの分岐口が真上をむいていた場合は、オートクリーンCのメンテ時に上カバーのねじを取り外しにくくなるので、分岐口を前後いずれかの方向に少しよけてください。



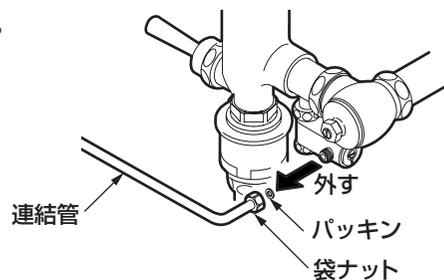
### 3 止水栓を閉める

- ① 止水栓カバーがある場合、取り外す。
- ② 既設フラッシュバルブの止水栓をマイナスドライバーで時計回りに回して閉める。  
ウォシュレットタイプの場合は、分岐金具の止水栓も閉める。
- ③ レバーを数回押して水が止まったことを確認する。



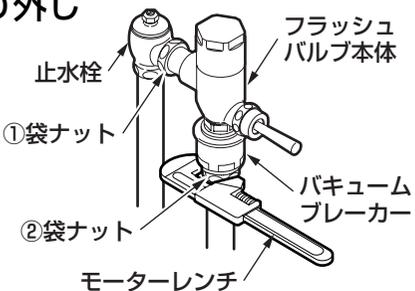
### 4 連結管の取り外し (ウォシュレットタイプの場合)

既設フラッシュバルブの連結管の袋ナットを外し、パッキン、連結管を取り外す。  
この時、残水をタオルなどでふき取る。



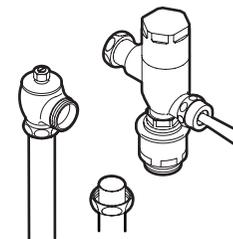
### 5 既設フラッシュバルブ本体の取り外し

- ① 止水栓側面の袋ナットをゆるめる。
- ② バキュームブレーカー側の袋ナットをゆるめ、①袋ナット、バキュームブレーカーごとフラッシュバルブ本体を取り外す。



#### 注意

- 共回りを防ぐため、バキュームブレーカーの袋ナットを外すときは、バキュームブレーカーをモーターレンチなどで押さえて取り外してください。
- 取り外し時に残水が出ますので、タオルなどでふき取ってください。

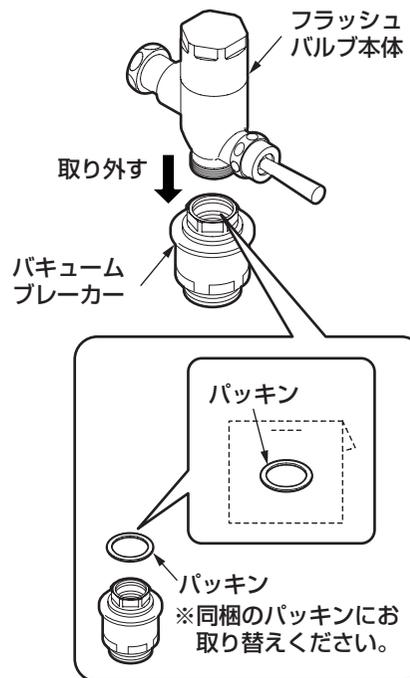


## 6 バキュームブレーカーの組み替え

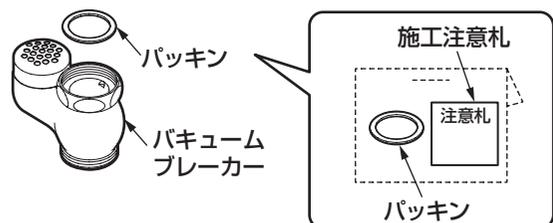
① モーターレンチでフラッシュバルブ本体からバキュームブレーカーを取り外し、バキュームブレーカーに取り付けてあったパッキンを図の要領に従って取り替える。

### 注意

バキュームブレーカーの種類によって取り付けるパッキンが異なります。図に従って、お取り替えください。

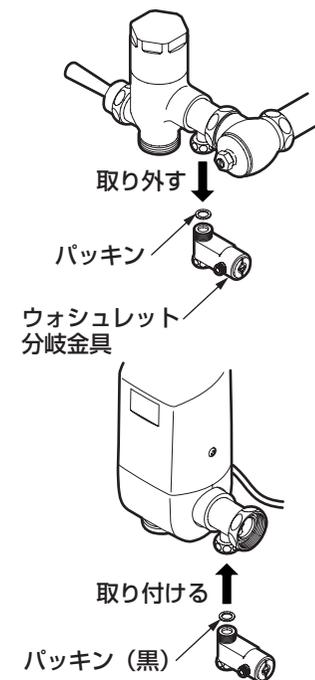


### 旧式のバキュームブレーカーの場合

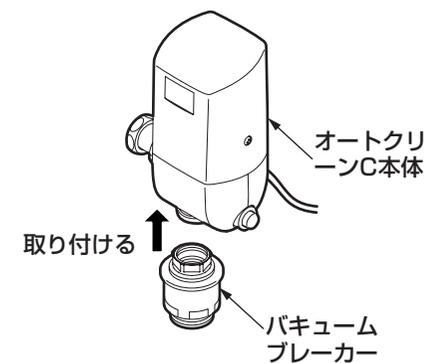


※施工注意札と同梱しているパッキンにお取り替えください。

② ウォシュレットタイプの場合は、ウォシュレット分岐金具とパッキンを取り外し、オートクリーンC本体に「6-3-2 分岐アダプター」の取り付け（ウォシュレットタイプの場合）の②で外したパッキン（黒）とウォシュレット分岐金具を取り付ける。



③ バキュームブレーカーをオートクリーンC本体に取り付ける。

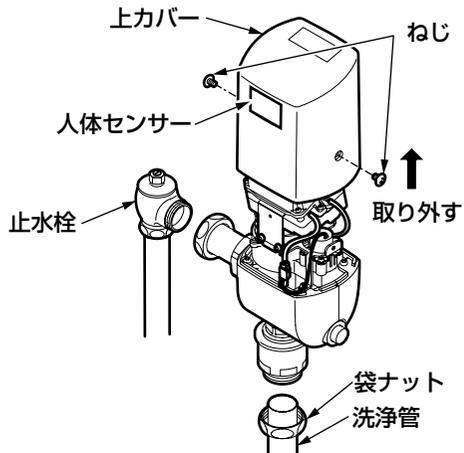
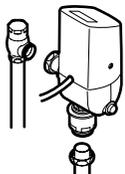


裏面へつづく

## 7 オートクリーンC本体の取り付け

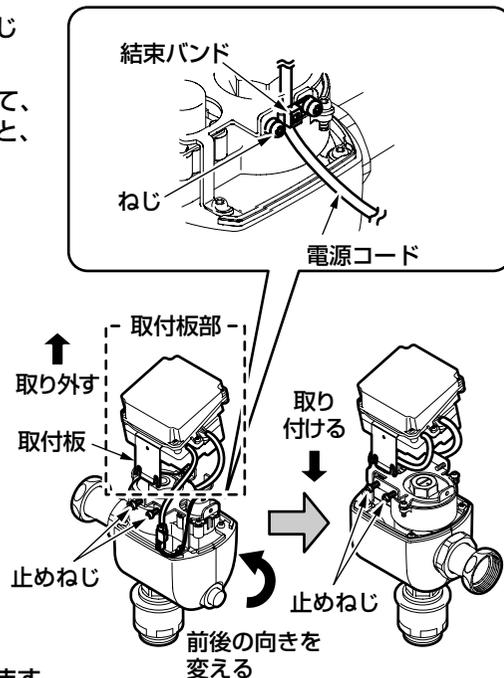
① オートクリーンC本体を止水栓・洗浄管に取り付けた際の人体センサーの位置を確認し、上カバーを固定しているねじを2本外し、上カバーを取り外す。

**正面を向いている** 場合：②へ  
**背面を向いている** 場合：給水方向を変更する。  
 (下記参照)



### 給水方向の変更方法

1. 取付板の止めねじ (2本) をゆるめ、裏側の結束バンドを固定しているねじを外す。
2. 1. で外したものの前後の向きを変えて、結束バンドを再びねじで固定したあと、取付板部を固定する。

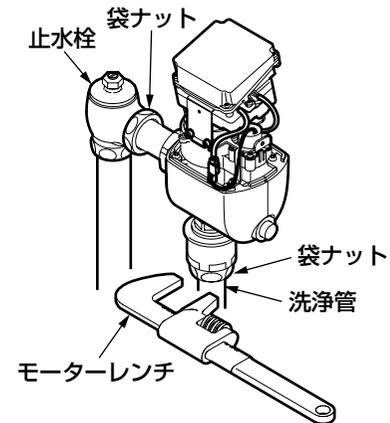


※図は、左給水→右給水を示します。

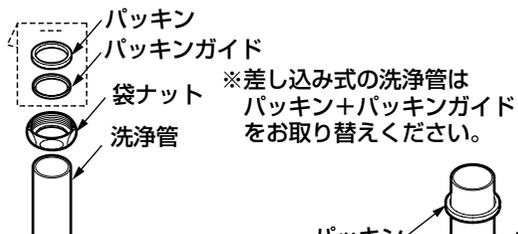
② 洗浄管の袋ナットのパッキンとパッキンガイド (またはスリップワッシャー) を下図の要領に従って取り替え、オートクリーンC本体を止水栓、洗浄管に固定する。

### 注意

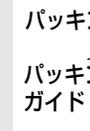
- オートクリーンC本体を止水栓、洗浄管に固定する際は、モーターレンチなどでコードを引っかけないように十分に注意してください。
- オートクリーンC本体は縦向きに取り付けてください。斜めや横向きに取り付けると不具合の原因になります。



### 差し込み式の洗浄管



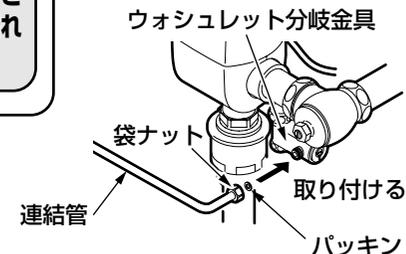
パッキンガイドの向きに注意してください。



### 注意

パッキンガイドの向きと順番を間違えると水漏れのおそれがあります。

③ ウォシュレットタイプの場合はウォシュレット分岐金具と連結管を同梱のパッキンと袋ナットで接続する。



## 8 洗浄水量調節について

取り付ける便器に応じて洗浄水量を調節することにより、高い節水効果が得られます。

【便器のタイプと設定方法】に従い、必ず「大洗浄」と「小洗浄」の両方の洗浄水量を調節してください。

洗浄水量調節は目安です。確実に洗浄できるか必ず確認し、適正な洗浄水量に調節してください。

### 注意

マイレット、汚物流し（SK33、SK35、SK434）および下表に記載の便器以外に取り付ける場合は、必ず「大」に設定してください。

切替方法は「8 切替スイッチの調節」を参照してください。

### 【便器のタイプと設定方法】

<例>腰掛便器「C480N」の場合（標準洗浄水量：大8L/小6L）

#### ●大洗浄水量

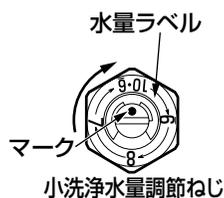
洗浄水量調節スイッチを小洗浄水量に加える水量の数値「1」にあわせる。

1	2	3	4
+2L	+3L	+4L	+5L

大洗浄水量調節スイッチ

#### ●小洗浄水量

バルブの調節ねじのマークを数値10と6の間の「●」にあわせる。



	腰掛便器			和風便器			汚物流し
便器の品番 (TOTO品番)	C14・C21N CS210CN(注1) C426・C480A CS480C(注1) C550RU C743PVR	CS140系 C426R C480AN C480N・C480S CS480CN(注1) C550SU C743PVN	C111・C21R CS210C(注1) C40・C40C C454PVR C48・C48AS CU714V C716(注4)	C425	C750系他	C755系 C756系	SK33 SK35 SK434 (注1)
大洗浄 (洗浄水量 調節スイッチ)	10L 	8L 	13L 	11L 	11L 	8L 	16L 
小洗浄 (バルブの 調節ねじ)	7L 	6L 	10L(注3) 	7L 	6L 	6L 	11L(注2) 

注1: 大小洗浄機能を「大小」から「大」へ切り替えてください。(「8 切替スイッチの調節」を参照)

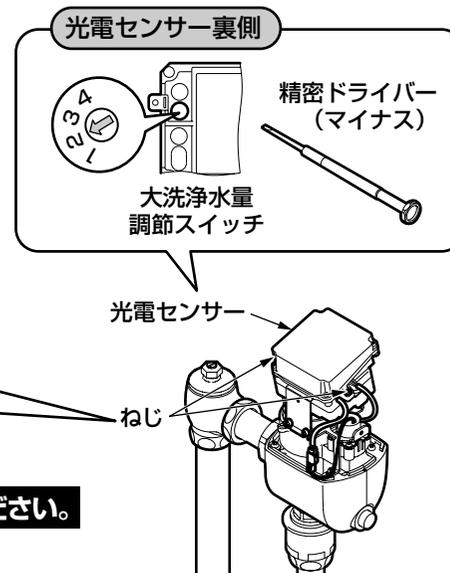
注2: 工場出荷時から水量ラベルの矢印と反対の方向に回して、7の位置にあわせてください。

注3: 調節ねじを水量ラベルの矢印と反対の方向に回して、10と6の間の「●」の位置にあわせてください。

注4: 低圧用便器C716とセットで使用する場合は大13L、大小洗浄機能を「大小」から「大」へ切り替えて使用ください。使用圧力は0.04MPa(流動時)~0.75MPa(静止時)でフラッシュバルブの設置位置が便器直付けの場合のみ使用できます。

### 【大洗浄水量の設定方法】

- ① 光電センサーのねじ(2カ所)を外す。
- ② 光電センサー裏側のゴムキャップを外し、精密ドライバー(マイナス)などでスイッチを調節する。



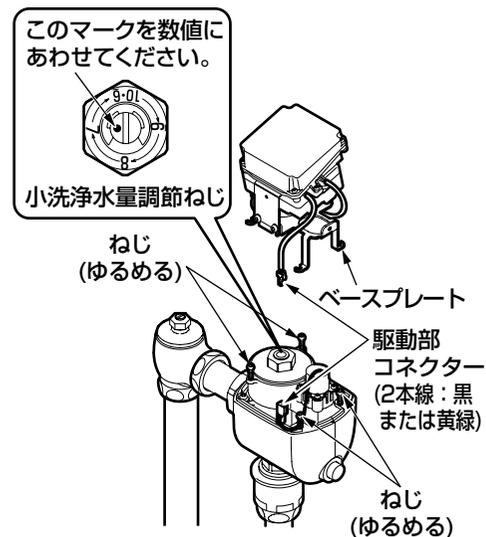
このねじは絶対に外さないでください。

### 【小洗浄水量の設定方法】

- ① 駆動部コネクター(黒または黄緑)を外す。
- ② ベースプレートのねじ(4カ所)をゆるめ、ベースプレートを外す。
- ③ 調節ねじ部の水量ラベルを参考にしながら、マイナスドライバーで調節する。

※小洗浄調節中に現在の設定水量位置を見失ったときは、1度調節ねじを時計回りに止まるまで(全閉)回してください。この位置から反時計回りに回して最初の「7」にマークをあわせると、約7Lに設定できます。ただし、全閉時にマークが「7」近くにある場合は、反時計回りに約1回転回して「7」にあわせてください。

- ④ 水量を調節したあとは、ベースプレートをねじ(4カ所)で固定し、駆動部コネクター(黒または黄緑)を接続する。



## 9 リモコンおよびその他の設定

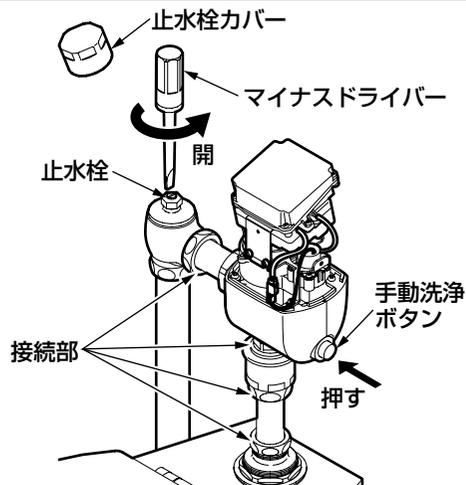
- リモコンについては、「**10** リモコン (別売品) について」を参照してください。
- その他の設定については、「**8** 切替スイッチの調節」を参照してください。

## 10 水勢の調節

- ①止水栓を開け、手動洗浄ボタンを押しながら水勢を調節する。  
ウォシュレットタイプの場合は分岐金具の止水栓も開ける。  
※このとき、水はねがないことと、接続部やオートクリーンC本体に水漏れなどの異常がないことをご確認ください。
- ②止水栓カバーがある場合、取り付ける。

### 注意

工具を使用する場合は、めっきを傷付けないように必ずふきんを挟んでください。

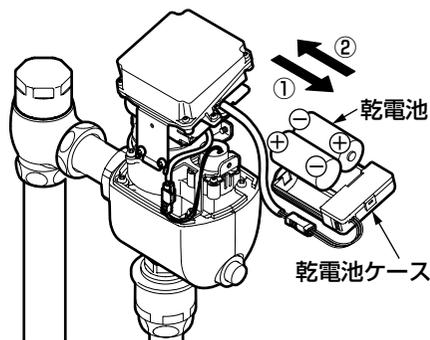


## 11 乾電池の取り付け (乾電池タイプのみ)

- ①矢印の方向に乾電池ケースを引き出し、乾電池ケースの乾電池マークの＋に従って乾電池をセットする。
- ②再び矢印の方向に乾電池ケースを挿入し、オートクリーンC本体にセットする。  
※乾電池ケースが完全に収まっていることを必ず確認してください。

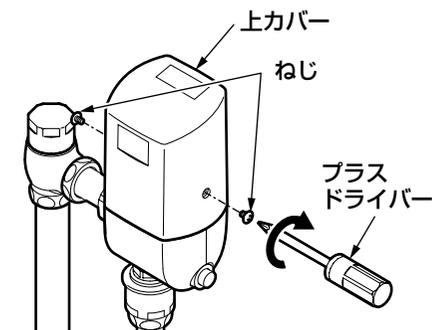
### 注意

- 乾電池ケースの引き出し、または挿入の際にコードをかみ込まないように十分ご注意ください。
- 乾電池挿入後、10分以内に取付完了後の確認を行わなくてはなりませんので、ご注意ください。  
乾電池挿入後10分間は、感知するたびに人体センサー窓ガラス内の感知表示ランプが点灯しますが、そのあとは、感知しても点灯しません。



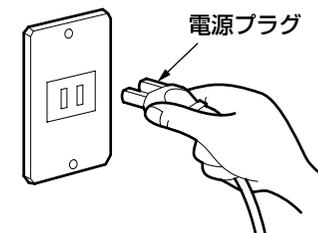
## 12 上カバーの取り付け

コードをかみ込まないように、十分に注意しながら上カバーをセットし、上カバーの裏側の穴から電源コードを通し、ねじで固定する。



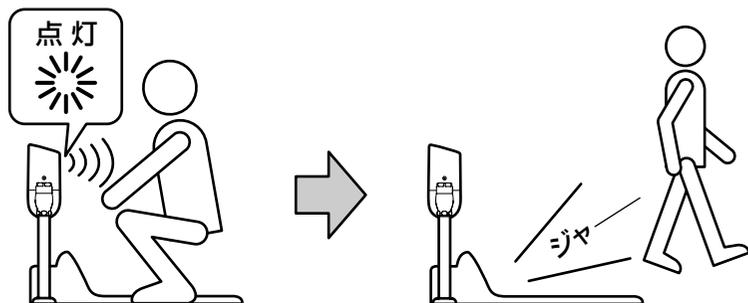
## 13 プラグの差し込み (AC100Vタイプのみ)

プラグをコンセントに差し込む。  
※電源投入後5秒以内に自動的に水が流れますが異常ではありません。



人体センサーの前に立ち、使用者を感知すると感知表示ランプが点灯します。6秒以上点灯させたあと立ち去ると感知表示ランプが消灯し、約10秒後洗浄水が流れることをご確認ください。

※乾電池タイプの場合、人体センサーの感知表示ランプの点灯は乾電池挿入後約10分間です。感知表示ランプを再度点灯させるには、乾電池ケースについている黄色のコネクターを抜き差ししてください。



立ち去っても  
感知表示ランプが  
消灯しない場合

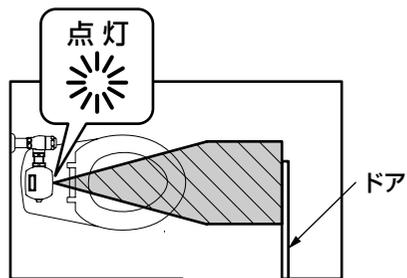
使用者が立ち去ったあと、人体センサーの感知表示ランプが消灯しない場合は、トイレブースの壁を感知していますので、感知距離の再設定が必要となります。

設定方法は「**8** 切替スイッチの調節」を参照してください。

ドアを開けたままで人体センサーの感知表示ランプが点灯する場合にも、下記感知距離の再設定を行ってください。

それでも感知表示ランプが点灯している場合には、ムダな洗浄を防ぐために自動洗浄機能を「切」に設定してください。設定方法は「**8** 切替スイッチの調節」を参照してください。

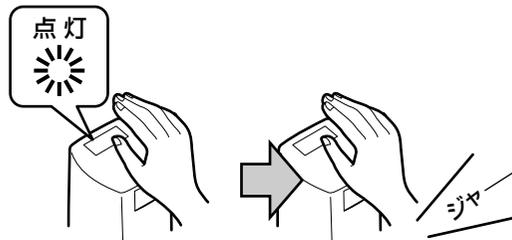
※人体センサーが壁やドアを感知していると正確に人体を感知できず、大小洗浄の判定や自動洗浄ができなくなります。また、乾電池タイプは乾電池の早期切れになります。



手かざしセンサーから1cm~5cm以内に約1秒~2秒手を近づけると、洗浄水が流れることをご確認ください。

ただし、1度洗浄しますと、ムダな洗浄を防ぐため、その後約10秒間は再洗浄できませんのでご注意ください。

※乾電池タイプの場合、乾電池投入後、10分以内は手をかざすと感知表示ランプが点灯します。10分を超えると点灯しませんが、故障ではありません。



#### 洗浄水量の少ない小洗浄で洗浄性能の確認を行ってください。

小洗浄性能の目安としては、76cmに切断したトイレペーパー（JIS品）を丸めたもの7個が1度に流れることを確認してください。

下表を参考にし、センサーから1cm~5cm以内に約1秒~2秒手をかざして、小洗浄を行ってください。

トイレペーパーが流れない場合は、止水栓の開閉ねじで水勢の調節を行ってください。

それでも流れない場合は、小洗浄水量を調節してください。

調節方法は「**6-5** - 「**8** 洗浄水量調節について」を参照してください。

大小洗浄機能	人体センサーの感知時間	洗浄水量
大小	6秒以上~小洗浄判定時間 (120秒または150秒)	小洗浄水量
	小洗浄判定時間以上	大洗浄水量
大	—	大洗浄水量

使用者に操作方法がわかるように、お取り付けのシステムに合ったラベルを選び、オートクリーンC本体に近い壁面に貼り付けてください。

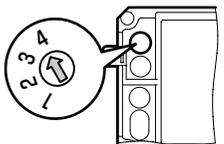
# 8

## 切替スイッチの調節

以下の設定を行うには光電センサーを取り外していただく必要があります。  
光電センサーの取外要領は、「**6.5** - **8** 洗浄水量調節について」を参照してください。（図は光電センサー裏側です）

スイッチの設定を変更したあとは、必ず上カバーをかぶせて確認作業を行ってください。

### 感知距離の設定（人体センサー）



スイッチ	1	2	3	4
感知距離 (単位:mm)	500	600	700	800

※出荷時は「スイッチ4：800mm」に調節してあります。

光電センサー裏側の感知距離調節スイッチのゴムキャップを外し調節してください。

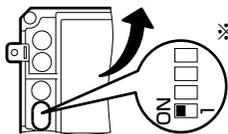
※乾電池タイプの場合は、この作業は乾電池を入れて10分以内に行ってください。10分以上経過している場合は、乾電池ケースについている黄色のコネクターを抜き差ししてください。

- ①人体センサーの感知表示ランプが点灯したままの場合  
…感知距離調節スイッチを「4」から「3」へ回す。
- ②スイッチ切り替え後も人体センサーの感知表示ランプが点灯したままの場合  
…感知距離調節スイッチを1つずつ下げて調節してください。

### 手かざし時間切替方法

← スイッチ

SW 4：小洗浄判定時間	150秒 / 120秒
SW 3：大小洗浄	大 / 大小
SW 2：自動洗浄	切 / 入
SW 1：手かざし時間	1秒 / 2秒



※出荷時は1秒に設定

### スイッチ1(SW1)を切り替える。

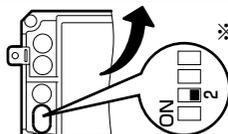
工場出荷時は、1秒に設定していますが、手かざしセンサーによる不要な洗浄が発生する場合は、2秒に切り替えてください。

※TEF71AC SX、TEF81ACRXは工場出荷時、2秒に設定しています。

### 自動洗浄切替方法

← スイッチ

SW 4：小洗浄判定時間	150秒 / 120秒
SW 3：大小洗浄	大 / 大小
SW 2：自動洗浄	切 / 入
SW 1：手かざし時間	1秒 / 2秒



※出荷時は自動洗浄「入」

### スイッチ2(SW2)を切り替える。

流し忘れ防止のため、使用者が立ち去ったあとに自動で洗浄するよう工場出荷時に設定しています。

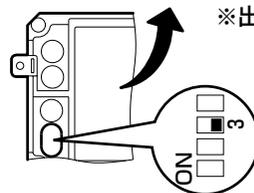
自動洗浄をオフにする場合は、スイッチ2(SW2)を「切」に設定してください。

※汚物流し(SK33、SK35、SK434)に取り付ける場合は、必ず「切」に設定してください。

### 大小洗浄切替方法

← スイッチ

SW 4：小洗浄判定時間	150秒 / 120秒
SW 3：大小洗浄	大 / 大小
SW 2：自動洗浄	切 / 入
SW 1：手かざし時間	1秒 / 2秒



※出荷時は大小洗浄「大小」

### スイッチ3(SW3)を切り替える。

スイッチ3(SW3)を切り替えることで大洗浄のみの場合と、大小洗浄の判定を行う場合とを選択できます。

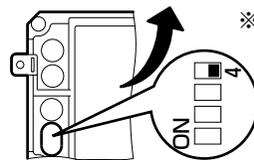
工場出荷時は大小洗浄の判定を行うように設定しています。

※マイザレット、汚物流し(SK33、SK35、SK434)および「**6.5** - **8** 洗浄水量調節について」に記載の便器以外に取り付ける場合は、必ず「大」に設定してください。

### 小洗浄判定時間の切替方法

← スイッチ

SW 4：小洗浄判定時間	150秒 / 120秒
SW 3：大小洗浄	大 / 大小
SW 2：自動洗浄	切 / 入
SW 1：手かざし時間	1秒 / 2秒



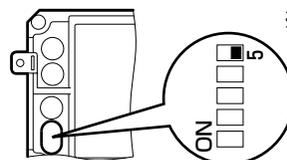
※出荷時は120秒に設定

### スイッチ4(SW4)を切り替える。

人体センサーの感知時間により大/小便を判定して適正水量を流します。

工場出荷時は、120秒に設定していますが、スイッチ4(SW4)を切り替えることで、150秒に設定することもできます。

### 設備保護洗浄の切替方法※AC100Vタイプのみ



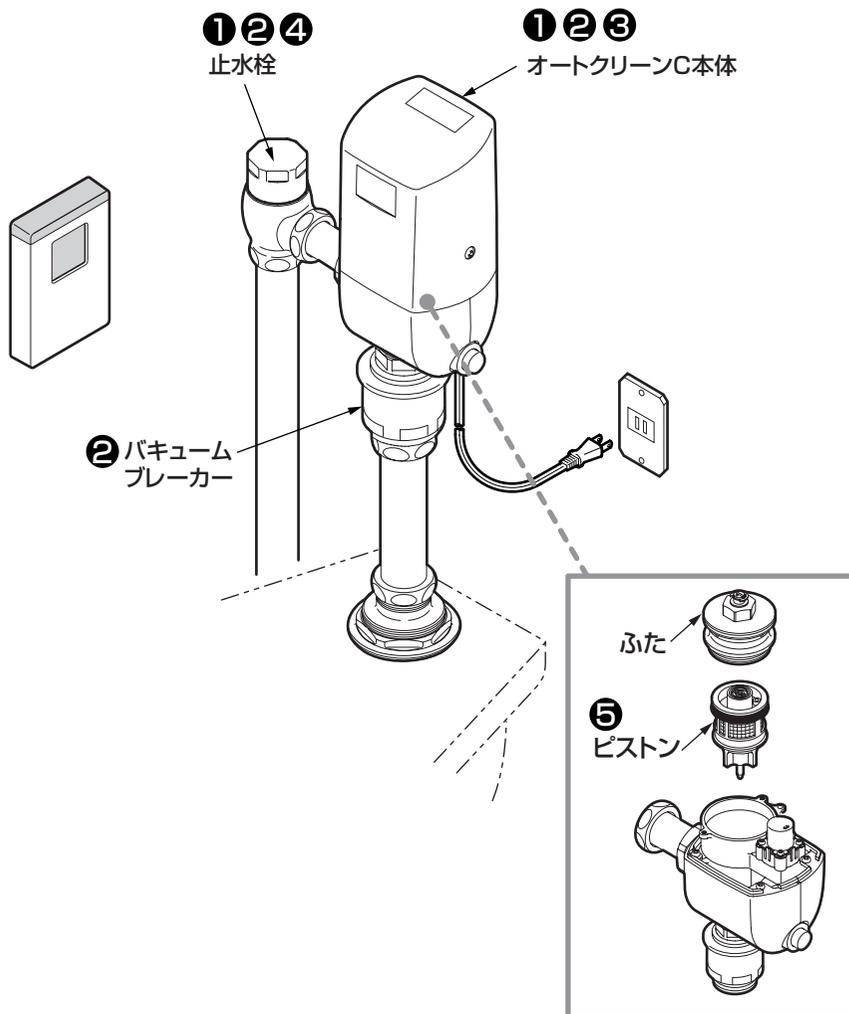
※出荷時は設備保護洗浄「入」

### スイッチ5(SW5)を切り替える。

24時間洗浄がない場合は配管を保護するため、自動的に洗浄します。

設備保護洗浄をオフにする場合は、スイッチ5(SW5)を左側に切り替えてください。

取り付けが完了したあと、次の項目を確認してください。



### ガタツキの確認

ガタツキがないか確認してください。

① オートクリーンC本体、止水栓はしっかり取り付けられていますか？

↳ 6-4 - 7「オートクリーンC本体の取り付け」参照

### 水漏れの確認

水漏れがないか確認してください。

② 接続部はしっかり締め付けていますか？

↳ 6-3 - 6「バキュームブレーカーの組み替え」参照

↳ 6-4 - 7「オートクリーンC本体の取り付け」参照

### 洗浄水量の確認

洗浄水量が少ないときや、設定どおりの洗浄水量が出ない場合は、次の項目を確認してください。

③ 小洗浄水量・大洗浄水量は正しく設定されていますか？

↳ 6-5 - 8「洗浄水量調節について」参照

④ 止水栓は開いていますか？

↳ 6-6 - 10「水勢の調節」参照

⑤ ピストンのごみ詰まりはないですか？

↳ ピストンの掃除をする。  
掃除方法は取扱説明書を参照してください。

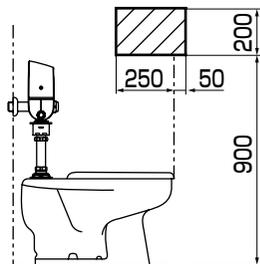


# 10 リモコン (別売品) について

リモコン (別売品:TES25型) をお買い上げいただいた場合は、下記に従って、設置およびコード設定をしてください。

## リモコンの設置

リモコンを右図  部を参考に適切な位置に取り付けてください。



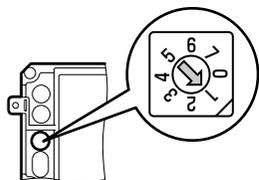
## 光電センサーとリモコンのコード設定

リモコンをお取り付けの場合は、光電センサーとリモコンのコード設定を必ずあわせる必要があります。

〈リモコンを1台設置する場合〉

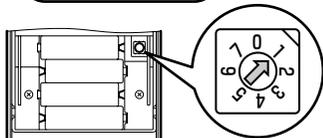
光電センサーとリモコンのコードを1にあわせませす。

### 光電センサー裏側



※工場出荷時は「0」になっていますので、「1」に設定してください。  
※光電センサーの取外要領は「6.9 - 8 洗浄水量調節について」を参照してください。

### リモコン

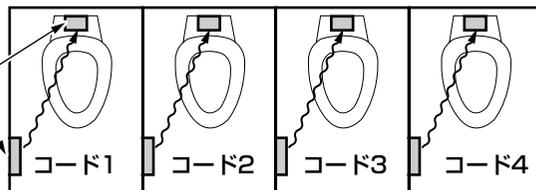


※工場出荷時は「1」に設定しています。

〈リモコンを2台以上設置する場合〉

リモコンを2台以上設置される場合、隣または対向のリモコン信号を受けて誤作動するおそれがあります。相互の干渉を防止するため、下図のようにリモコンと光電センサーのコード設定をあわせてご使用ください。

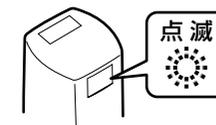
コード1      コード2      コード3      コード4



光電センサーとリモコンのコードをあわせる  
※コードが双方「0」の場合は、リモコンによる洗浄はできません。

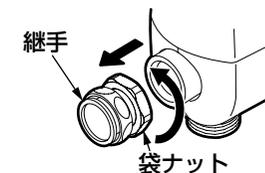
# 11 乾電池交換 (乾電池タイプのみ)

乾電池が切れかかると、使用者を感知するたびに人体センサー内の感知表示ランプが1秒間隔で最大15回点滅し、お知らせします。また、人体センサー内感知表示ランプが点滅をしていない場合にも、機能が停止してれば、まず乾電池の交換を行ってください。交換要領は「6.4 - 11 乾電池の取り付け」を参照ください。



# 12 接続金具の交換

- ① モーターレンチでオートクリーンCの袋ナットを外す。
- ② 継手に布切れなどを当て、矢印の方向にパイプレンチなどの工具で回しながら外す。



## TH342-2の場合

- ③ ご購入いただいた接続金具の継手を手で矢印の方向に止まるまで回す。
- ④ 袋ナットをモーターレンチでオートクリーンC本体に締め付ける。

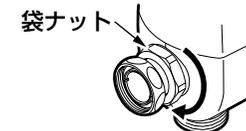


## TH342の場合

- ③ 同梱の開閉工具で継手を矢印の方向に止まるまで回す。



- ④ 袋ナットをモーターレンチでオートクリーンC本体に締め付ける。



- ⑤ 同梱の開閉工具で、再び継手を矢印の方向に止まるまで回す。

※同梱の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。